

# 債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー






南アフリカ



インドネシア


















インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		5/10 （5/3との比較）	5/10 （5/3との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
カナダ 	AAA	1.73% （▲0.03）	81.96円 （▲0.99%）	+1.6% 2018年4Q	1.75%	発表された住宅着工件数が市場予想を上回った他、雇用統計も概ね良好な内容。原油価格が下落したことも背景に、カナダドルは対円で下落。米中通商問題の先行き懸念による米国金利の低下につれ、国債利回りは低下。	CPI（消費者物価指数）などが発表予定。米中通商問題および原油価格の動向などに注目が集まる中、債券・為替市場はともにレンジ内での推移を想定。
	Aaa	→ 金利横ばい	→	→ 景気安定	→ 据え置き局面		
ブラジル 	BB-	7.89% （▲0.15）	27.79円 （▲1.50%）	+1.1% 2018年4Q	6.50%	発表された小売売上高が市場予想を下回った他、PMI（購買担当者景気指数）が前月比で悪化。金融政策についても、市場予想通り据え置きが決定される中、レアルは対円で下落。国債利回りは低下。	特に注目すべき経済指標の発表予定が無い中、年金改革などボルソナロ大統領の政策や、米中通商問題の動向などに注目が集まる。債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を予想。
	Ba2	→ 金利横ばい	↗	↗ 景気回復	→ 据え置き局面		
メキシコ 	A-	7.92% （▲0.02）	5.76円 （▲1.98%）	+1.3% 2019年1Q	8.25%	発表された鉱工業生産や製造業生産は、市場予想を上回る内容。政府は米国がメキシコ産トマトに関税を課すことを決定したことを問題視。メキシコペソは対円で下落。国債利回りは小幅低下。	金融政策決定会合が開催予定であるが、市場は現状維持を予想。米国との国境問題や経済政策に関する動向から目が離せないが、高い利回りが続くことが期待されるメキシコペソについては、底堅い動きを想定。
	A3	→ 金利横ばい	↗	→ 景気安定	↗ 利上げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。  
 ※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。  
 ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。  
 ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。  
 ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。  
 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。  
 ※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
 ※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		5/10 （5/3との比較）	5/10 （5/3との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAA	1.73% （▲0.06）	76.98円 （▲1.34%）	+2.3% 2018年4Q	1.50%	発表された貿易収支や小売売上高は市場予想を上回る内容。米国が中国からの輸入品への関税引き上げを実施するなど世界経済の先行きに不透明感が高まる中、豪ドルは対円で下落。国債利回りは低下。	企業景況感や消費者信頼感指数、雇用統計などが発表予定。米中通商問題については先行きを見通しにくい。市場は同問題を一部織り込んでいると考えられ、債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を想定。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ニュージーランド 	AA+	1.82% （▲0.08）	72.54円 （▲1.76%）	+2.3% 2018年4Q	1.50%	中銀は市場予想通り2年半ぶりの利下げを実施。今後1年程度の間に変更の確率が50%以上であることが示唆されたことなどから、ニュージーランドドルは対円で下落。国債利回りは低下。	PPI（生産者物価指数）などが発表予定。米中貿易交渉が自国経済の主要なリスクであるとの中銀総裁のコメント通り、同問題に注目が集まる中、債券・為替市場ともに上下どちらにも振れやすい相場展開を想定。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.72% （▲0.04）	12.62円 （▲1.12%）	+1.7% 2018年4Q	1.00%	金融政策決定会合では政策金利の据え置きが決定。発表されたCPIは市場予想通りであったが、鉱工業生産は前月に続き弱めとなったこともあり、ノルウェークローネは対円で下落。国債利回りは低下。	中銀は政策金利を市場予想通り1.00%に据え置いたものの、来月利上げを実施する公算が最も大きいと表明。他の主要国中銀比でタカ派な姿勢を維持していることなどもあり、債券・為替市場ともに一進一退の展開を予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気拡大	 利上げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		5/10 （5/3との比較）	5/10 （5/3との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
南アフリカ 	BB+	7.59% （▲0.10）	7.76円 （+0.32%）	+1.1% 2018年4Q	6.75%	発表された鉱物生産量や製造業生産は、予想を上回る内容。総選挙では、与党ANC（アフリカ民族会議）が獲得議席数を減らす、過半数は確保。国債利回りは低下。ランドは対円で上昇。	失業率や小売売上高などの発表を予定。選挙結果を受けてラマポーザ大統領は続投となることから、いったん政治の落ち着きがみられる中、債券・為替市場はともにレンジ内での推移を想定。
	Baa3	 金利横ばい		 景気停滞	 据え置き局面		
インドネシア 	BBB-	7.50% （+0.05）	0.77円 （▲1.57%）	+5.1% 2018年4Q	6.00%	発表されたGDP（国内総生産）は予想を下回る内容となる一方、消費者信頼感指数は前月比で改善。ジョコ大統領が、成長加速を狙い小さな政府を目指すことを示唆。インドネシアルピアは対円で下落。国債利回りは上昇。	貿易収支などの発表を予定。中銀は政策金利を据え置くと予想しており、影響は限定的と思われる。米中通商協議の動向などを受けたリスク許容度の変化に影響を受けやすく、インドネシアルピアは一進一退の展開を予想。
	Baa2	 金利横ばい		 景気拡大	 利下げ局面		
インド 	BBB-	7.25% （▲0.06）	1.57円 （▲2.35%）	+6.6% 2018年4Q	6.00%	発表された鉱工業生産は市場予想を下回り、前年同月比マイナスとなる内容。米中通商問題などによる世界経済の先行き不透明感もあり、インドルピーは対円で下落。国債利回りは低下。	CPIや貿易収支などが発表予定。大詰めを迎える総選挙でモディ首相が再選するかどうかに注目が集まる中、債券・為替市場ともにその動向に反応する展開を予想。
	Baa2	 金利上昇		 景気回復	 据え置き局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる本国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（南アフリカ：3年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

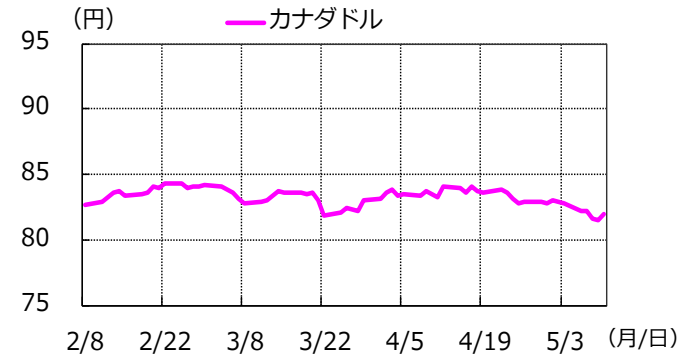
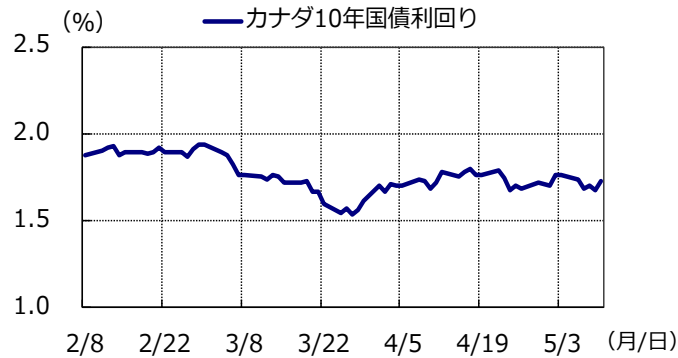
※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。

※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

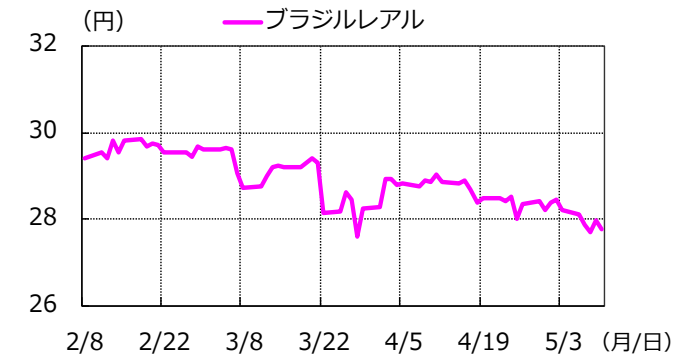
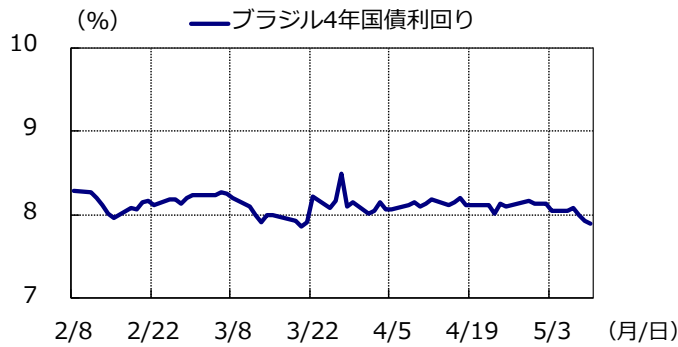
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2019/2/8～2019/5/10

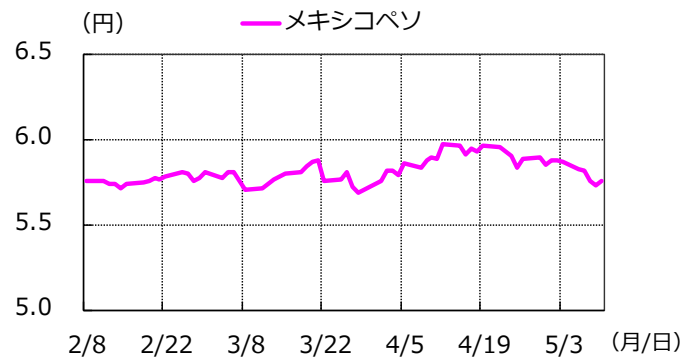
カナダ



ブラジル



メキシコ

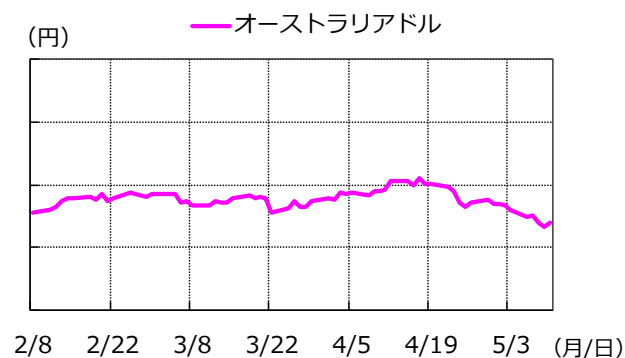


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバークのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

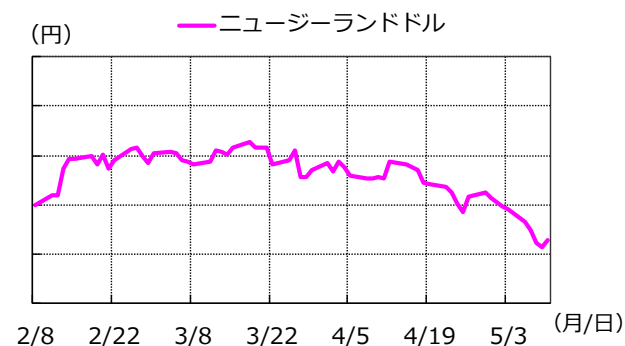
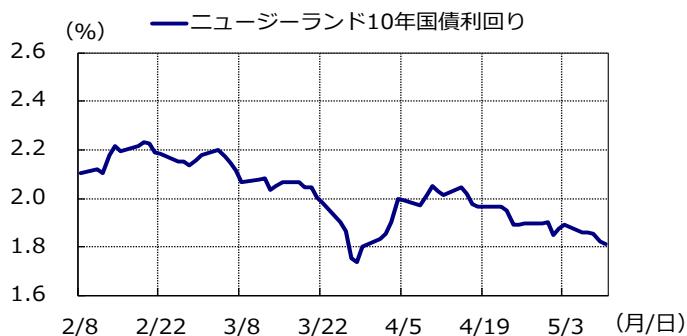
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2019/2/8～2019/5/10

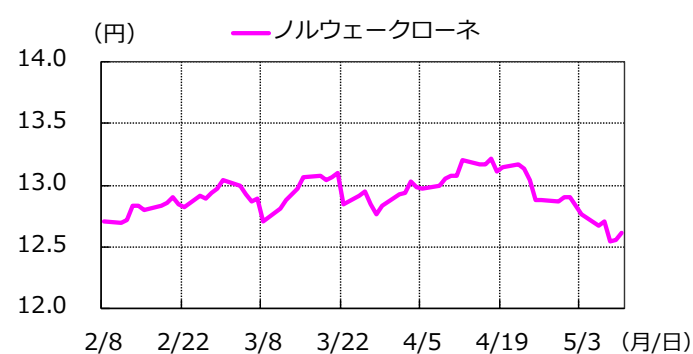
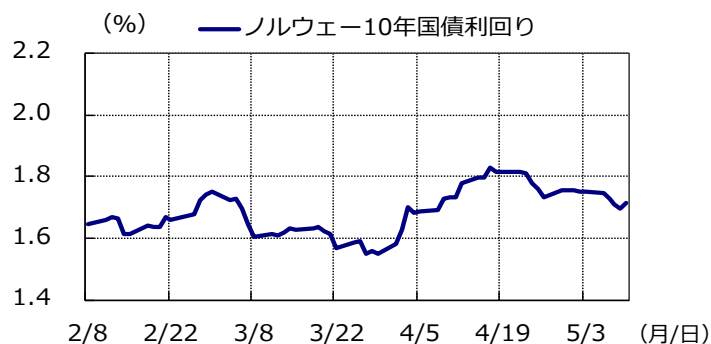
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

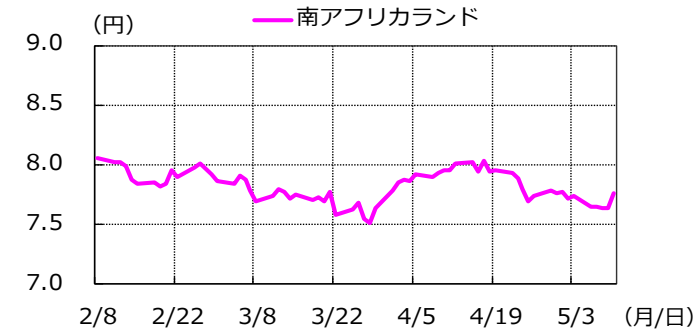
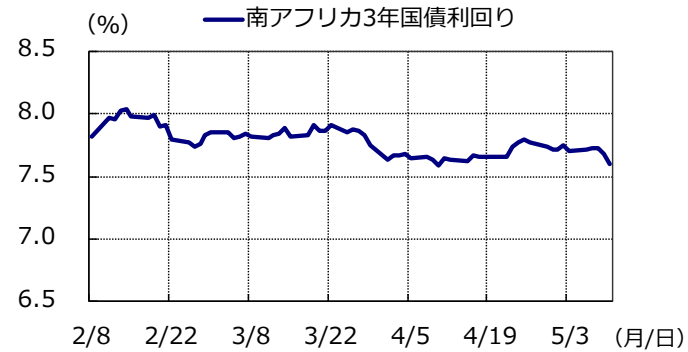


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

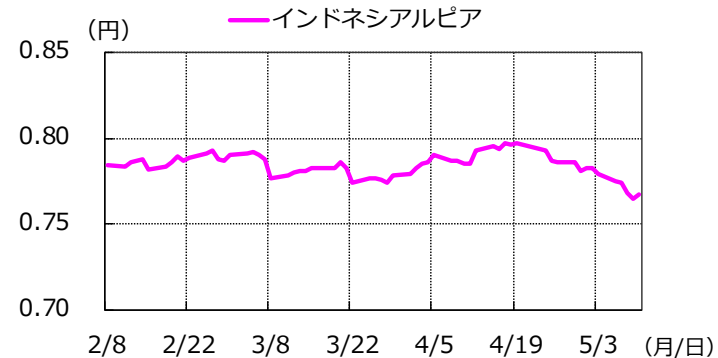
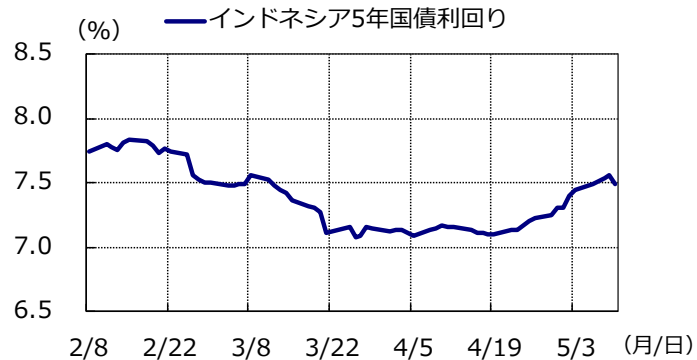
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2019/2/8～2019/5/10

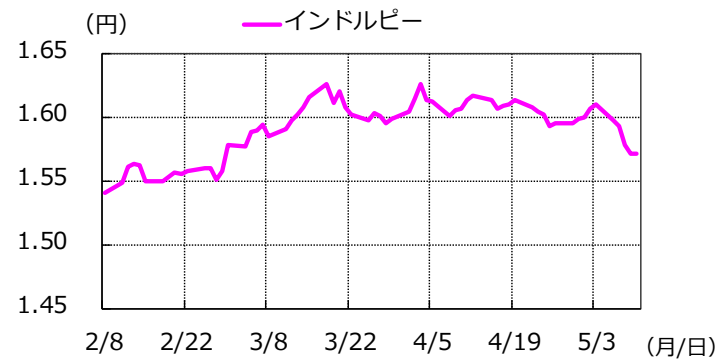
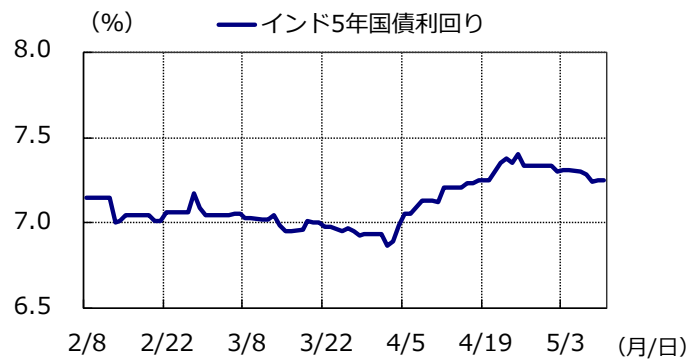
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

# 投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

## 【投資信託に係るリスクと費用】

### ● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

### ● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

#### ■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

#### ■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

## 【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。